

平成 2 9 年度

歳入歳出決算補充説明書

防災対策部

平成 29 年度歳入歳出決算補充説明

平成 29 年度三重県歳入歳出決算のうち、防災対策部所管の事務事業にかかる決算の概要を、お手元の「平成 29 年度三重県歳入歳出決算に関する説明書」によりご説明申し上げます。

平成 29 年度の防災対策部関係の歳入につきましては、予算現額 12 億 6,896 万 5,984 円に対し、調定額及び収入済額とも 12 億 8,487 万 4,631 円となっております。

それでは、歳入決算の詳細につきまして順次ご説明申し上げます。

まず、48 頁、第 8 款「使用料及び手数料」のうち、当部関係は、第 1 項「使用料」第 1 目「総務使用料」の一部で、予算現額 278 万 5,000 円に対し、調定額、収入済額とも 278 万 7,653 円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額（円）
土地使用料	9,000
建物使用料	2,778,653
合 計	2,787,653

また、54 頁、第 2 項「手数料」第 1 目「総務手数料」のうち当部関係は、予算現額 8,964 万 9,000 円に対し、調定額、収入済額とも 9,131 万 7,380 円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額（円）
消防法関係手数料	43,071,400
ガス関係手数料	36,274,380
火薬関係手数料	2,745,800
電気関係手数料	9,225,800
合 計	91,317,380

従いまして、第 8 款「使用料及び手数料」の合計は、予算現額 9,243 万 4,000 円に対し、調定額、収入済額とも 9,410 万 5,033 円となっております。

次に、70 頁、第 9 款「国庫支出金」第 1 項「国庫負担金」第 2 目「民生費負担金」のうち当部関係は、71 頁の「災害救助費負担金」の一部で、予算現額 2,683 万円に対し、調定額、収入済額とも 2,683 万 2,096 円となっております。

また、78 頁、第 9 目「総務費負担金」のうち当部関係は、「国民保護訓練費負担金」で、予算現額 7 万 1,000 円に対し、調定額、収入済額とも 7 万 1,584 円となっております。

また、106 頁、第 3 項「委託金」第 1 目「総務費委託金」のうち当部関係は、107 頁の「地域創生人材育成事業委託金」で、予算現額 458 万 8,000 円に対し、調定額、収入済額とも 650 万円となっております。

従いまして、第 9 款「国庫支出金」の合計は、予算現額 3,148 万 9,000 円に対し、調定額、収入済額とも 3,340 万 3,680 円となっております。

次に、116 頁、第 10 款「財産収入」第 1 項「財産運用収入」第 2 目「利子及び配当金」のうち当部関係は、117 頁の「利子収入」の一部で、予算現額 40 万 2,000 円に対し、調定額、収入済額とも 40 万 1,305 円となっております。

また、同頁、第 2 項「財産売払収入」第 2 目「物品売払収入」のうち当部関係は、117 頁の「物品売払収入」の一部で、予算現額 1 億 9,003 万 2,000 円に対し、調定額、収入済額とも 1 億 9,003 万 2,330 円となっております。

従いまして、第 10 款「財産収入」の合計は、予算現額 1 億 9,043 万 4,000 円に対し、調定額、収入済額とも 1 億 9,043 万 3,635 円となっております。

次に、120 頁、第 11 款「寄附金」第 1 項「寄附金」第 3 目「民生費寄附金」のうち当部関係は、121 頁の「福祉基金寄附金」の一部で、予算現額、調定額、収入済額とも 150 万円となっております。

また、同頁、第 8 目「総務費寄附金」のうち当部関係は、123 頁の「防災対策寄附金」で、予算現額、調定額、収入済額とも 300 万円となっております。

従いまして、第 11 款「寄附金」の合計は、予算現額、調定額、収入済額とも 450 万円となっております。

次に、124 頁、第 12 款「繰入金」第 2 項「基金繰入金」第 1 目「基金繰入金」のうち当部関係は、予算現額 9,437 万 9,000 円に対し、調定額、収入済額とも 1 億 983 万 5,344 円となっております。

次に、126 頁、第 13 款「繰越金」第 1 項「繰越金」第 1 目「繰越金」のうち当部関係は、予算現額、調定額、収入済額とも 85 万 1,984 円となっております。

次に、138 頁、第 14 款「諸収入」第 6 項「収益事業収入」第 1 目「宝くじ収入」のうち当部関係は、予算現額、調定額、収入済額とも 3 億 2,419 万 6,000 円となっております。

また、同頁、第 8 項「雑入」第 2 目「雑入」のうち当部関係は、141 頁の「雑入」の一部で、予算現額 5,568 万 2,000 円に対し、調定額、収入済額とも 5,554 万 8,955 円となっております。

従いまして、第 14 款「諸収入」の合計は、予算現額 3 億 7,987 万 8,000 円に対し、調定額、収入済額とも 3 億 7,974 万 4,955 円となっております。

次に、144 頁、第 15 款「県債」第 1 項「県債」第 1 目「総務債」のうち当部関係は、予算現額 4 億 7,500 万円に対し、調定額、収入済額とも 4 億 7,200 万円であり、その内訳は次のとおりです。

科 目	収入済額（円）
防災行政無線整備事業費充当	100,000,000
広域防災拠点施設整備事業費充当	255,000,000
防災ヘリコプター運航管理費充当	30,000,000
防災ヘリコプター更新事業費充当	84,000,000
学校運営管理費充当	3,000,000
合 計	472,000,000

以上、歳入決算の概要についてご説明申し上げました。引き続き、歳出決算の概要についてご説明申し上げます。

防災対策部関係の歳出につきましては、予算現額 23 億 1,222 万 4,984 円に対し、支出済額 22 億 9,076 万 2,687 円で、不用額 2,146 万 2,297 円となっております。

それでは、歳出決算の詳細につきまして順次ご説明申し上げます。

まず、186 頁、第 2 款「総務費」のうち、第 2 項「企画費」第 5 目「危機管理費」ですが、予算現額 142 万 6,000 円に対し、支出済額 142 万 5,800

円、不用額 200 円であり、これは、県政を取り巻くさまざまなリスクに対し、的確な危機管理体制づくりを行う「危機管理推進事業費」に要した経費です。

次に、226 頁、第 8 項「防災費」につきましては、予算現額 22 億 4,758 万 984 円に対し、支出済額 22 億 2,621 万 2,960 円、不用額 2,136 万 8,024 円となっております。

第 1 目「防災総務費」は、予算現額 20 億 2,494 万 8,984 円に対し、支出済額 20 億 656 万 698 円、不用額 1,838 万 8,286 円となっております。

支出済額の主な内容は、職員の人件費である「給与費」、北勢広域防災拠点の整備等にかかる「防災拠点施設整備事業費」、防災ヘリコプターの運航や維持にかかる「防災ヘリコプター運航管理費」など、防災対策の推進にかかる各種事業に要した経費であり、その内訳は次のとおりです。

事業名	支出済額（円）
給与費	650,040,789
防災対策費	105,679,021
地震対策費	151,366,572
防災拠点施設整備事業費	313,154,215
防災行政無線管理費	205,282,496
防災行政無線整備事業費	100,195,772
防災ヘリコプター運航管理費	358,400,138
防災ヘリコプター更新事業費	84,100,652
三重県災害見舞金	24,170,000
その他	14,171,043
合計	2,006,560,698

なお、不用額の主なものは、地震対策費の実績減などです。

次に、228 頁、第 2 目「消防指導費」は、予算現額 1 億 9,759 万 2,000 円に対し、支出済額 1 億 9,609 万 5,984 円、不用額 149 万 6,016 円となっております。

支出済額の主な内容は、火災予防の啓発と危険物取扱者等の免状交付や保安講習等にかかる「予防費」、消防学校の運営管理と施設整備にかかる「消防学校費」など、県内の消防体制の確立にかかる事業に要した経費であり、その内訳は次のとおりです。

事 業 名	支出済額（円）
消防費	23,668,394
予防費	34,898,003
消防学校費	137,529,587
合 計	196,095,984

なお、不用額の主なものは、予防費の実績減などです。

次に、230 頁、第 3 目「銃砲火薬ガス等取締費」ですが、予算現額 2,504 万円に対し、支出済額 2,355 万 6,278 円、不用額 148 万 3,722 円であり、これは、高圧ガス製造販売施設等の設置許可及び完成検査、保安検査等にかかる「高圧ガス費」のほか、銃砲火薬類の取締り、電気工事士免状の交付等に要した経費です。

なお、不用額の主なものは、高圧ガス費の実績減などです。

最後に、260 頁、第 3 款「民生費」のうち、当部関係は、第 4 項「災害救助費」第 1 目「救助費」の一部で、予算現額 6,321 万 8,000 円に対し、支出済額 6,312 万 3,927 円、不用額 9 万 4,073 円であり、これは、台風第 21 号の災害救助に対する市町への負担金の支出とそれに伴う災害救助基金の積立等に要した経費です。

なお、不用額は、災害救助事業費の実績減です。

以上をもちまして、防災対策部関係の平成 29 年度歳入歳出決算の補充説明を終わらせていただきます。

何とぞ、よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。